

## 職員の状況

保育を担当する職員

令和5年4月当初　みのり保育園15名（園長1名、保育士12名、調理員2名）  
きど保育園19名（園長1名、保育士16名、調理員2名）

嘱託医は、きどは沼口医院(笠木町)、みのりは竹中胃腸科(宮町)に園医をお願いした。

## 保育の状況

保育園の使命は、利用家庭のニーズに如何に応じてゆけるかということと、日常の保育内容の充実とであると考え。したがって、希望者の多少にかかわらず、長時間保育、延長保育には当然応じて行く必要があり、従来と同様にこれを実施している。

保育内容については、幼児が対象であるとはいえ、専門的な知識と技術が必然的に必要となってきた。当法人のみのり・きど保育園においては、こうした専門性の必要性を認識し、昭和50年ころより、専門講師による保育を導入している。

14年度より開始した新しい保育内容では、園児が使用するパソコンを導入した。近年、保育園年令児が使用可能な幼児用パソコンソフトが増えてきたことにより、4才児(あお組)5才児(ふじ組)に2台ずつパソコンを配置した。これにともない、パソコンの専門講師を招いて、園児対象のパソコン操作の指導と保育士対象のパソコン講座の実施を開始した。

当法人の運営する2保育園においては、こうした専門的指導力を保育士に求めることは、保育士に対する過剰すぎる期待と考え、外部から非常勤の専門講師を迎えて指導を仰いでいる。その分野は4分野で、絵画指導講師(昭和50年ころより)、音楽リズム指導講師(昭和55年ころより)、体育指導講師(平成7年度より)、幼児パソコン指導講師(平成14年度より)を導入して、保育内容の充実に努めている。

## 社会的活動及び事業の状況

平成元年度より、大垣市社会福祉協議会から社会福祉協力園の指定を受けていたが、規定の2年間の指定期間を過ぎてその指定から外れた。しかし、この間に行ってきた社会的活動は継続して実施してきており、平成23年度にも継続した。その主なものとして次のように実施したほか、会合の会場として場所を提供、また園庭を常時開放して地域住民児童の利用に供した。社会的活動の主なものを列記した。